

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2024年6月期調査結果（2024年8月発表分）

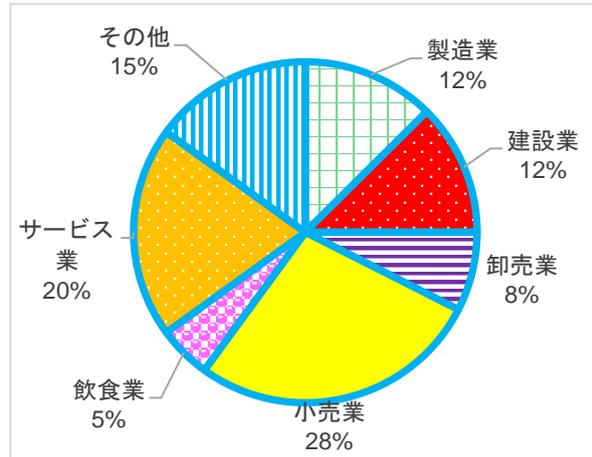
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2024年度景気ウォッチャー調査員（69名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は40名（回答率は57.9%）

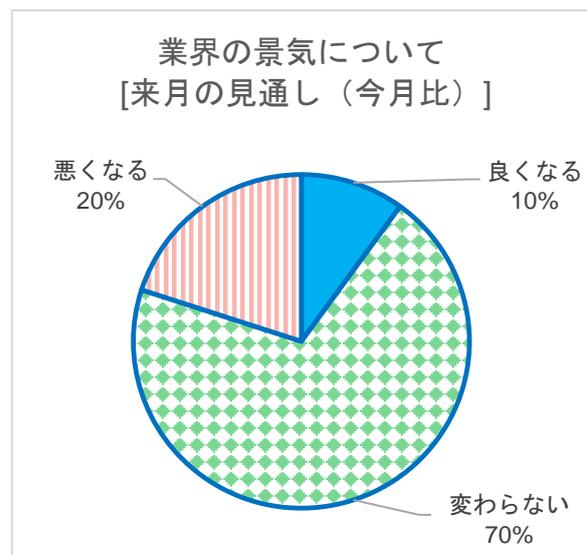
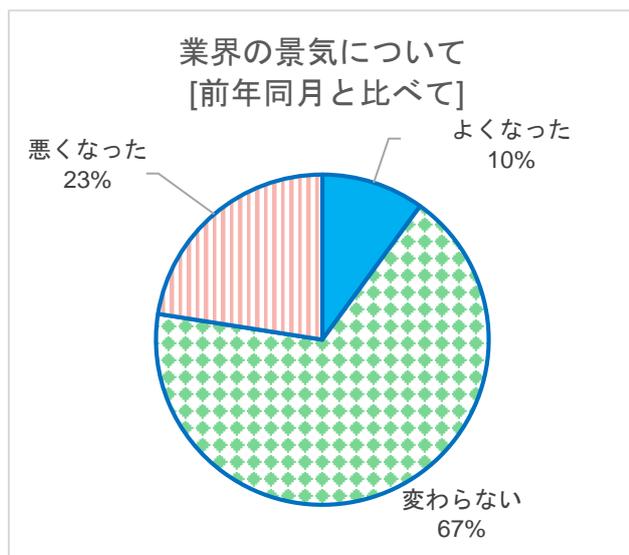
業種	回答者数	構成比
製造業	5	12.5%
建設業	5	12.5%
卸売業	3	7.5%
小売業	11	27.5%
飲食業	2	5.0%
サービス業	8	20.0%
その他	6	15.0%
計	40	100%



調査結果のポイント

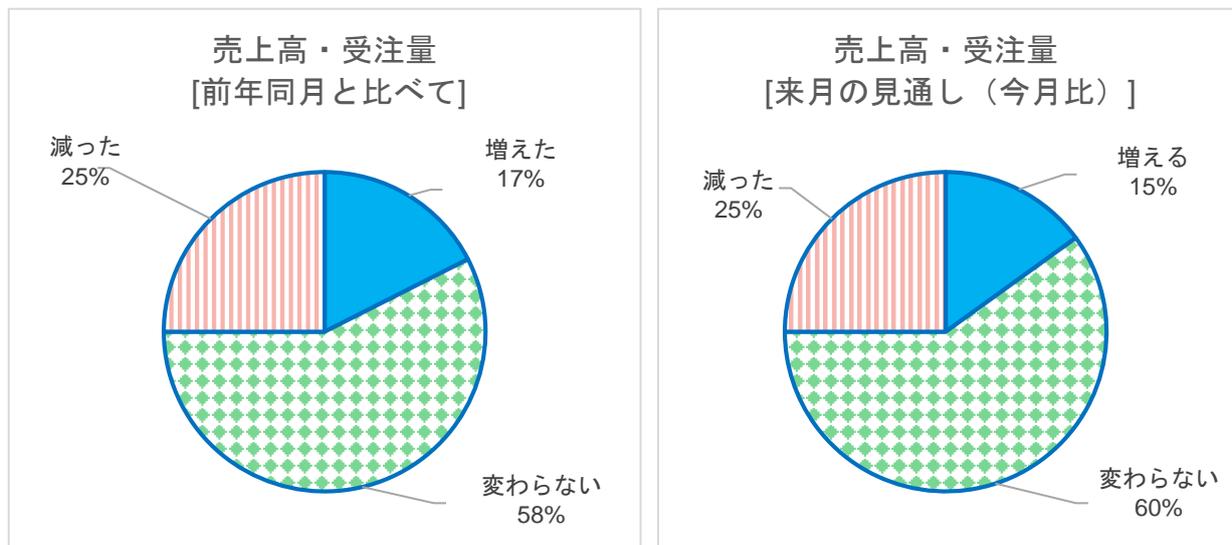
<景況>

- ・2024年6月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が10.0%、「変わらない」が67.5%、「悪くなった」が22.5%となりました。
- ・2024年7月以降の見通しについて、6月と比較して、「よくなる」が10.0%、「変わらない」が70.0%、「悪くなる」が20.0%となりました。



<売上高・受注>

- ・2024年6月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」17.5%、「変わらない」が57.5%、「減った」が25.0%となりました。
- ・2024年7月以降の見通しについて、6月と比較して、「増える」が15.0%、「変わらない」が60.0%、「減る」が25.0%となりました。



【景気動向DI (毎月版)】

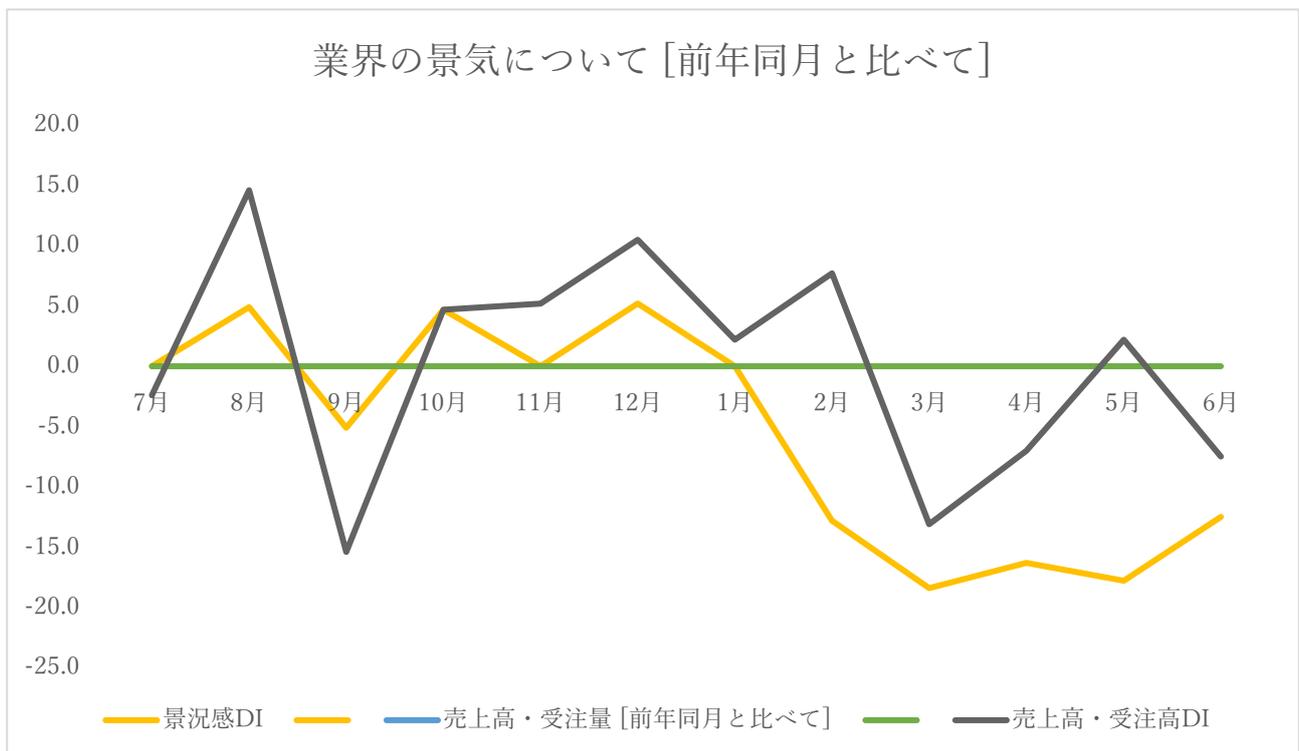
<概要>

景気ウォッチャー調査員69名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

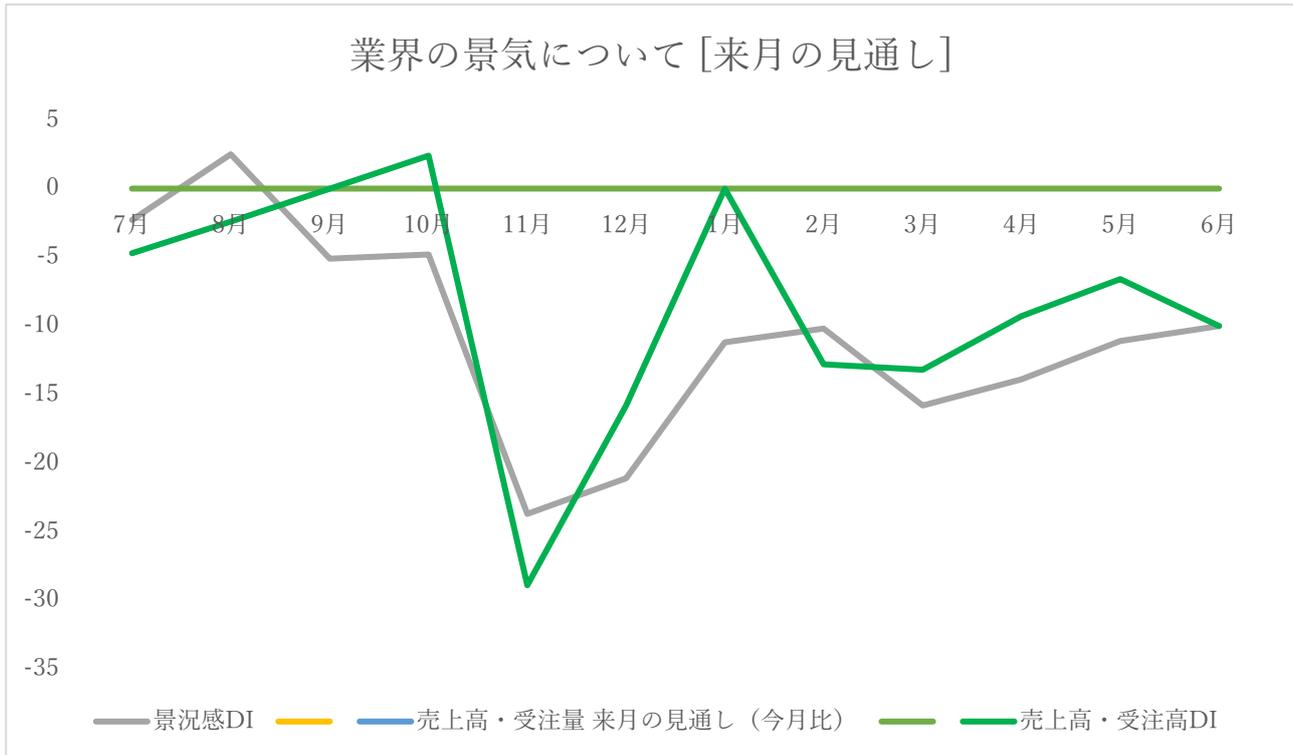
⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2023年7月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
景況感DI	0.0	4.9	-5.1	4.7	0.0	5.2	0.0	-12.8	-18.4	-16.3	-17.8	-12.5
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高・受注高DI	-2.4	14.6	-15.4	4.7	5.2	10.5	2.2	7.7	-13.1	-7.0	2.2	-7.5

2023年7月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
景況感DI	-2.3	2.5	-5.1	-4.8	-23.7	-21.1	-11.2	-10.2	-15.8	-13.9	-11.1	-10
売上高・受注量 来月の見通し (今月比)												
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高・受注高DI	-4.7	-2.4	0.0	2.4	-28.9	-15.8	0.0	-12.8	-13.2	-9.3	-6.6	-10

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
建築工事業	浜松市では木造住宅の耐震補強助成金の補助枠が埋まってしまい、今年度補正予算で追加枠を設けるかは不透明で、今年は耐震補強工事が伸び悩む可能性がある。
化粧品(小)	小売店の減少
税理士	補助金による需要拡大
自動車タイヤ(小)	海外メーカー品の値上げと品薄状態が続いている。 国内品はもともと売上が芳しくない中、これ以上値上げが続けば死活問題となる。
警備業	外国人雇用に向けての協議が加速している。
税理士	人手不足と賃上げは中小企業の死活問題。

社会保険労務士	専業自動車整備業界の高齢化、人材不足が深刻。整備の件数及び売上が低下傾向にある。
楽器(製)	コロナも収まり、団体の工房見学も少しずつ戻ってきているが、人数が多すぎて受け入れられないケースが増えてきている。
社会保険労務士	給料計算業務での定額減税対応が増えた。
経営コンサルタント	浜松に来るインバウンド客が少ない。
ディスプレイ業	細かな受注はあるが、大きな受注が無い為、売上、利益が上がらない。次月も同様の見込み。
茶(加・小)	茶業・抹茶の需要が増加中。抹茶と煎茶は木が同じでも栽培方法と製造方法が異なる。煎茶は作り手が多いが、抹茶は作り手が少ない。しかしながら、製造ラインを新たに組む程の、ゆとりがある中小企業がないのが現状。
広告制作業	人手不足が深刻
サッシ・ドア(製)	引き続き受注量、売上が悪い。同業他社も同様。過去一番悪い。
家庭電化製品(販)	エアコンの動きが活発になってきた。
事業協同組合(青果)	最近、野菜が高騰している為、仕入れに苦労するという声がある。
事業協同組合(石油)	ガソリンの販売数量は曜日回りと天気安定していたため、前年並であった。ガソリン等への補助金は、年内は継続されることになった。しかしながら出口戦略は明確ではなく、原油高・円安傾向が続いているため、今後について懸念される。
事業協同組合(機械)	人手不足と賃金の上昇を凶らないといけないが先行き不安である。
事業協同組合 (ものづくり)	人手不足が深刻
事業協同組合(鍍金)	原材料費・エネルギー価格の高騰
塗装(卸)	税金の上昇
燃料(小)	政府は「酷暑乗り切り緊急支援」として8月より3ヶ月間電気・都市ガスの補助金を再開する。電気は理解できるが、夏場は消費量が少なくなる都市ガスも対象とするのは理解に苦しむ。補助対象はGHP(ガスヒートポンプエアコン)利用者限定すべきだと思う。
電気めっき業	景気の好転を伴わない賃上げの風潮、進まない価格転嫁
資材(卸)	メーカー直販や大手のネット販売により年々、価格競争や失注に繋がっている。
建築設計業	市役所発注物件で、設計業務の発注が今年度は増えている傾向にある。工事に関しても設備工事関係の発注が多く、発注数に対して施工業者数が少ない状況にある。
茶(加・小)	客単価は上がったが、来店数の減少が止まらない。お客様は無駄に足を運ばなく、ついで買いもみられない。
事業協同組合 (ものづくり)	異常気象(豪雨、気温の上昇等)
業種区分	行政・商工会議所への要望・その他連絡事項
化粧品(小)	店舗改装に使用できる補助金があると嬉しい。
楽器(製)	実用性の高い助成金・補助金があると嬉しい。
広告制作業	人材紹介、ビジネスマッチング
事業協同組合(機械)	若手の人材を募集したいがうまくマッチング出来ない。
資材(卸)	商工会議所でポイント発行などの施策があると嬉しい。

①新型コロナウイルス感染症の影響 ②物価高騰・円安の影響 ③インボイス制度への対応 ④ダイハツ問題 ⑤その他	
ディスプレイ業	①7月に入り周囲でコロナ感染者が目立つようになった。
楽器(製)	②影響が大きく、今まで値上げせず頑張ってきたが具体的に値上げの時期や数字を考えるようになった。
家庭電化製品(販)	②素材の値上りで、高価格帯の商品が売れない。
事業協同組合(機械)	②物価高騰に加え金融機関の貸出金利が上がってくるのではないかと不安である。材料費、エネルギー価格も含め売上は横ばいであるが利益率は下がっている。
事業協同組合(鍍金)	②円安の影響が原材料や燃料費に重くのしかかっている。
木製家具(製)	②物価高騰による材料費の上昇により原価が高騰している。
資材(卸)	②円安の影響からメーカーより値上げの要請が増加している。
税理士	③インボイス、電子帳簿保存法への対応も一息ついたが、各事業所での処理が適正に行われているか心配している。
電気めっき業	④自動車メーカーの不正で生産量が減少している。
自動車タイヤ(小)	⑤外国人観光者増に伴い、オーバーツーリズムとなっている観光地の警備員配置が増加している。
家庭電化製品(販)	⑤古い住宅で、アスベスト対策を講じているとは思えない事例が幾つかある。

以上